



環境経営活動レポート 2023

(2023年 1月1日～2023年 12月31日)

発行 2024年3月30日

わたし達はエアフィルターの製造を通じて
「きれいな空気」「おいしい空気」など、
環境に「いい空気」を提供しています

■当社の概要

(1) 事業者名及び代表者名

関東エアフィルター工業株式会社

代表取締役社長 今 里 正 夫



(2) 所在地

本社: 東京都千代田区神田猿樂町2-7-5 NKビル

工場: 茨城県小美玉市川戸1450-41

(3) 環境保全関係の責任者連絡先

本社: 代表者(代表取締役社長) 今里正夫

連絡先 電 話 03-3293-9275

F A X 03-3293-9277

E メール imasato@filter.co.jp

工場: 環境管理責任者(製造課長) 千ヶ崎敏男

連絡先 電 話 0299-58-6401

F A X 0299-58-6400

E メール ibaraki@filter.co.jp

(4) 対象範囲(認証・登録範囲)

エアフィルター関連機器及び機材の設計・製造・販売

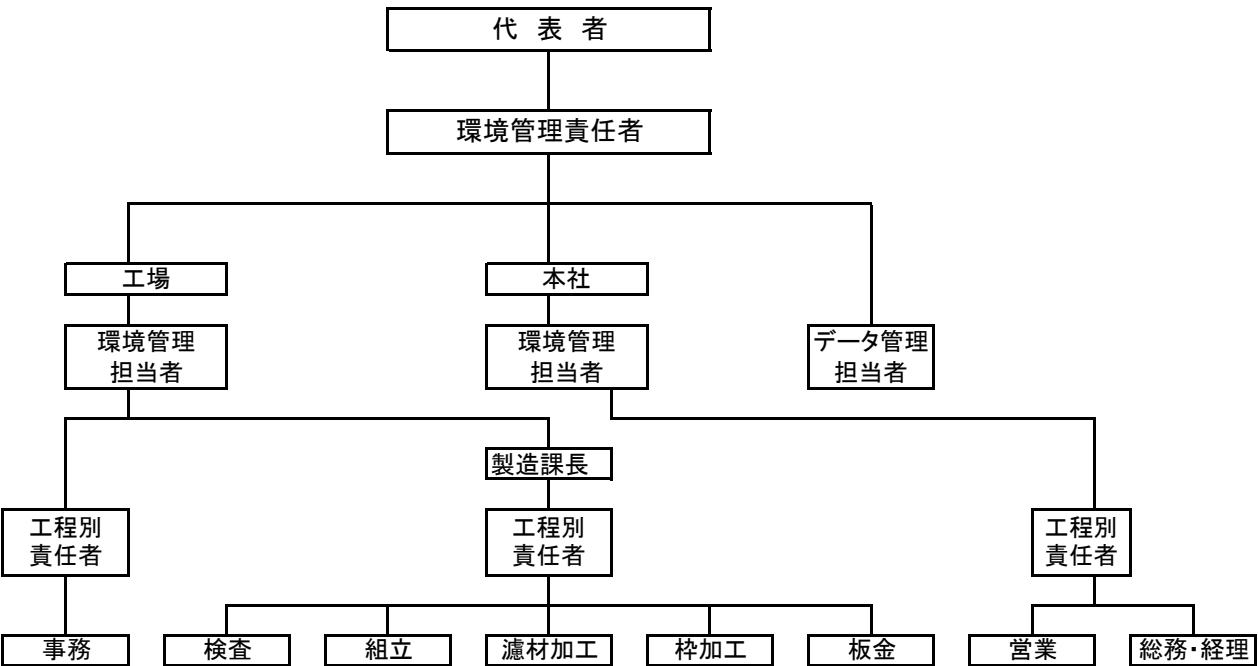
(5) 事業の規模(2023年度実績)

年間売上高 11,000万円

従業員数 11名〔本社:5名、工場:6名〕

工場延床面積 1,000㎡〔本社:82㎡、工場:918㎡〕

エコアクション21 実 施 体 制



役割分担表

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営方針策定 ・環境管理責任者の指名 ・資源（人材・資金・技術）の用意 ・環境経営システム等の全体的な評価と見直し ・課題とチャンスの表明
環境管理責任者	・環境経営システムの総責任者としての役割権限 ・環境経営システムの実績を代表者に報告 ・各部門の環境経営目標をまとめ、達成状況を確認、記録 ・各部門の環境経営計画をまとめ、実施状況を確認、記録 ・環境教育訓練実施状況確認
環境管理担当者	・部門環境経営目標、環境経営計画策定、実施状況確認、評価 ・部門環境教育訓練計画策定実施 ・是正処置、予防処置の実施
EA事務局 （データ管理担当者）	・文書の様式作成、保存管理 ・環境経営システム運用上の事務管理 ・環境経営活動レポートのとりまとめ
製造課長	・部門環境経営計画の実施総括
工程別責任者・全従業員	・部門環境経営計画の実施

環境経営方針

基本理念

当社は、地球環境保全が人類共通の課題であることを認識し、社員一人一人が自覚を持ち、環境負荷の継続的低減及び持続的に発展できる経済社会の実現に寄与すべく努めることに全社一丸となって、継続的改善に取り組みます。

当社は、すべての事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識した上で、当社の全事業活動（エアフィルター関連機器及び機材の設計・製造・販売）において、特に以下の環境保全活動を推進します。

行動指針

1. 事業活動を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。
2. 事業活動を通じて、廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組みます。
3. 事業活動を通じて、総排水量（水の総使用量）の抑制、削減に取り組みます。
4. 当社の製品は多品種少量生産であるために、業務管理用帳票類のコピー枚数削減及び製品梱包用ダンボール購入量の削減をはかります。
5. グリーン購入を推進し、環境に配慮した製品を購入します。
- 6 環境に関する法規等を遵守することを誓約します。
- 7 環境方針は、全従業員に周知すると共に社外に公開します。

制定 2007（平成19）年1月1日

改定 2020（令和2）年1月1日

関東エアフィルター工業株式会社

代表取締役社長 今里正夫

今里正夫

□ 環境経営目標とその実績

令和4(2023)年
(令和5年1月～令和5年12月)

環境経営方針	環境経営目標				今年度実績 令和5(2023)年度 上段:実績値 下段:達成率
	内 容	基準年度 平成30(2018)年度	今年度 令和5(2023)年度	中長期 令和2年(2020)年度 ～令和5年(2023)年 度	
		基準値	目標	各年度目標	
1.事業活動を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。	101 購入電力削減(本社) [kwh]	7,938	7,859 以下(△1%)	7,859 以下(△1%)	8,076 97%
	102 購入電力削減(工場) [kwh]	24,284	24,041 以下(△1%)	24,041 以下(△1%)	23,078 104%
	103 灯油の使用量を削減する。[L]	1,680	1,663 以下(△1%)	1,663 以下(△1%)	1,609 103%
	104 二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2)	20,499	20,294 以下(△1%)	20,294 以下(△1%)	18,131 112%
2.事業活動を通じて、廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組みます。	201 工場から出る産業廃棄物を削減する。[kg] [基準年度からの削減率]	470	465 以下(△1%)	465 以下(△1%)	190 245%
3. 事業活動を通じて、総排水量(水の総使用量)の抑制、削減に取り組みます。	301 本社の総排水量を削減する。[m3]	86	85 以下(△1%)	85 以下(△1%)	77 111%
	302 工場の総排水量を削減する。[m3]	41	41 以下(△1%)	41 以下(△1%)	46 89%
4. 当社の製品は多品種少量生産であるために、業務管理用帳票類のコピー枚数削減及び製品梱包用ダンボール購入量の削減をはかります。	401 本社のコピー枚数を削減する。[枚] [基準年度からの削減率]	18,849	18,661 以下(△1%)	18,661 以下(△1%)	15,878 118%
	402 工場のコピー枚数を削減する。[枚]	16,086	15,925 以下(△1%)	15,925 以下(△1%)	12,667 126%
	403 ダンボール購入量を削減する。[kg]	5,312	5,259 以下(△1%)	5,259 以下(△1%)	4,121 128%

(注)購入電力の排出係数は、0.447((kg-CO2/kwh: 令和4年度東京電力エネルギーパートナー)とした

□ 2020年度環境経営計画(今年度と次年度の取組内容)

令和4(2023)年
(令和5年1月～令和5年12月)

環境経営方針	環境経営目標				環境経営計画
	内 容	基準年度 平成30(2018) 年度	今年度 令和5(2023) 年度	中長期 令和2年(2020) 年度～令和5年 (2023)年度	次年度取組内容 令和5年(2023)年度
		基準値	目標	各年度目標	
1.事業活動を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。	101 購入電力削減(本社) [kwh]	7,938	7,859	7,859	101① 必要でない照明、PC、電源を消す。
			以下(△1%)	以下(△1%)	101② エアコンの設定温度を夏28度、冬20度を目安とする
	102 購入電力削減(工場) [kwh]	24,284	24,041	24,041	102① 必要でない照明、PC、電源を消す。
			以下(△1%)	以下(△1%)	102② エアコンの設定温度を夏28度、冬20度を目安とする
	103 灯油の使用量を削減する。[L]	1,680	1,663	1,663	103① 不要の時は消す。
			以下(△1%)	以下(△1%)	
	104 二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2)	20,499	20,294	20,294	[101①～103①による]
			以下(△1%)	以下(△1%)	
2.事業活動を通じて、廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組みます。	201 工場から出る産業廃棄物を削減する。[kg]	470	465	465	201① 徹底分別と再資源化に努める。
			以下(△1%)	以下(△1%)	
3. 事業活動を通じて、総排水量(水の総使用量)の抑制、削減に取り組みます。	301 本社の総排水量を削減する。[m3]	86	85	85	301① 水を使用する場合は、こまめに蛇口を開閉し節水に心がける。
			以下(△1%)	以下(△1%)	
	302 工場の総排水量を削減する。[m3]	41	41	41	302① 水を使用する場合は、こまめに蛇口を開閉し節水に心がける。
			以下(△1%)	以下(△1%)	
4.当社の製品は多品種少量生産であるために、業務管理用帳票類のコピー枚数削減及び製品梱包用ダンボール購入量の削減をはかります。	401 本社のコピー枚数を削減する。[枚] [基準年度からの削減率]	18,849	18,661	18,661	401① 必要書類・部数の厳格管理等を心がける。
	402 工場のコピー枚数を削減する。[枚] [基準年度からの削減率]	16,086	15,925	15,925	402① 必要書類・部数の厳格管理等を心がける。
	403 ダンボール購入量を削減する。[kg]	5,312	5,259	5,259	403① 不要ダンボールの有効利用(製品梱包用)
			以下(△1%)	以下(△1%)	

□ 環境経営計画の取組結果とその評価

令和4(2023)年
(令和5年1月～令和5年12月)

環境経営方針	環境経営目標と実績			環境経営計画 (月毎及び半期毎に取組を確認 評価し、通年実施した)	評価
	内容	環境経営目 標	実績		
1.事業活動を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組めます。	101 購入電力削減(本社) [kwh]	7,859	8,076 97%	101① 必要でない照明、PC、電源を消す。	②
				101② エアコンの設定温度を夏28度、冬20度を目安とする	②
	102 購入電力削減(工場) [kwh]	24,041	23,078 104%	102① 必要でない照明、PC、電源を消す。	③
				102② エアコンの設定温度を夏28度、冬20度を目安とする	③
	103 灯油の使用量を削減する。[L]	1,663	1,609 103%	103① 不要の時は消す。	③
	104 二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2)	20,294	18,131 112%	[101①～103①による]	④
2.事業活動を通じて、廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組めます。	201 工場から出る産業廃棄物を削減する。[kg]	465	190 245%	201① 徹底分別と再資源化に努める。	⑤
3. 事業活動を通じて、総排水量(水の総使用量)の抑制、削減に取り組めます。	301 本社の総排水量を削減する。[m3]	85	77 111%	301① 水を使用する場合は、こまめに蛇口を開閉し節水に心がける。	④
	302 工場の総排水量を削減する。[m3]	41	46 89%	302① 水を使用する場合は、こまめに蛇口を開閉し節水に心がける。	②
4.当社の製品は多品種少量生産であるために、業務管理用帳票類のコピー枚数削減及び製品梱包用ダンボール購入量の削減をはかります。	401 本社のコピー枚数を削減する。[枚]	18,661	15,878 118%	401① 必要書類・部数の厳格管理等を心がける。	④
	402 工場のコピー枚数を削減する。[枚]	15,925	12,667 126%	402① 必要書類・部数の厳格管理等を心がける。	⑤
	403 ダンボール購入量を削減する。[kg]	5,259	4,121 128%	403① 不要ダンボールの有効利用(製品梱包用)	⑤

評価基準 ⑤目標を完璧に達成 120%以上 ④目標を十分に達成 110%以上 ③目標を達成 110～100%
②まだ改善の余地がある 99～70% ①目標を達成していないので、是正処置が必要である。 70%未満

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃掃法	可燃ごみ、不燃ごみ
廃棄物処理法	産業廃棄物(合成繊維・ガラス・PVC・蛍光灯)
浄化槽法	浄化槽
消防法	活性炭、プロパン、灯油、ガソリン
騒音規制法	ベンダー、シャーリング、コーナーカットシャー
振動規制法	ベンダー、シャーリング、コーナーカットシャー
フロン排出抑制法	東芝パッケージエアコン、東芝スポットエアコン 簡易点検3ヶ月毎の実施

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去7年間ありませんでした。

			代表者
代表者による全体の評価と見直し記録(令和5年1月～令和5年12月)		■定期見直し(事業年度終了後) □臨時見直し	今里(正)
実施日:		2024年3月4日	
見直しに必要な情報			代表者による見直し
管理責任者の報告及び改善への提案			変更の必要性の有無・指示事項
[取り組み状況の評価結果]			[環境経営方針]
①環境関連法規制等の順守状況(環境関連法規等順守記録による) ・2023年3月4日に定期評価を実施した結果順守されている。			変更の必要性: □有 ■無
②外部からの環境に関する苦情や要望等 ・当該期間は記載する該当事項はなかった。			
③問題点の是正処置及び予防処置の状況 ・当該期間は記載する該当事項はなかった。			
④前回までの代表者の指示事項への対応 ・特になし			
[環境経営目標・環境経営計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による)			[環境経営目標・環境経営計画]
			変更の必要性: □有 ■無
目標項目	目標値 達成状況	活動計 画 実施状 況評価	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)
購入電力削減(本社)	97%	②	エアコン使用量が増えたので温度調節をこまめにする
購入電力削減(工場)	104%	③	目標を達成出来た
灯油使用量削減	103%	③	目標を達成出来た
CO2の削減	112%	④	目標を達成出来た
廃棄物の削減	245%	⑤	目標を達成出来た
水の削減(本社)	111%	④	目標を達成出来た
水の削減(工場)	89%	②	猛暑の為散水を行った、是正必要なし
コピー枚数削減(本社)	118%	④	目標を達成出来た
コピー枚数削減(工場)	126%	⑤	目標を達成出来た
ダンボール購入量削減	128%	⑤	目標を達成出来た
評価基準 ⑤目標を完璧に達成 ④目標を十分に達成 ③目標を達成 ②まだ改善の余地がある ①目標を達成していないので、是正処置が必要である。			
<改善への提案>			
[周囲の変化の状況]			[実施体制]
・特になし。			変更の必要性: □有 □■無
[総括]			
1) ほぼ目標を達成出来、是正処置も適正に行われている。このまま継続して削減に努めたい。			
代表者が自ら得た情報			
・特になし。			